

事業所名

心身障害児総合医療療育センター

支援プログラム

作成日

2024 年

10 月

1 日

法人（事業所）理念		わたしたちをご利用の方々が健康で明るい生活が送れるよう全力を尽くします。				
支援方針		ご利用の方々の 健康を守るための医療 充実した生活のためのリハビリテーション 個性を重んじ人権を尊重した療育 ご意見を伺いながら開かれたサービス に努めます				
営業時間		9 時	0 分	17 時	15 分	送迎実施の有無 なし
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	体力、運動能力の向上を図り、それぞれが持っている能力の発育・発達を促して、それぞれに適した身体的、精神的、社会的支援を個別に行います。 運動や活動を通して、健康状態の維持・改善に必要な生活リズムを身につけられるように支援します。 医療的ケアが必要な方にも適切なサービスが受けられるよう、それぞれに応じた医療的ケアに関するアドバイスや支援、環境整備を行います。				
	運動・感覚	マット運動や、ボール遊び・競技などを通して、体力・運動能力の向上を図り、ルールを理解や動作の基本的技能などを支援します。 姿勢の保持や各種の運動・動作が困難な場合、姿勢保持装置など様々な補助用具を活用して活動できるよう支援します。 バランスボール、バランスボード、ステップ素材を利用したバランス感覚や左右の概念の習得などを促します。				
	認知・行動	それぞれの認知の特性を理解し、踏まえた上で、自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう支援します。 物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、大小、数、重さ、空間、時間などの概念形成を運動を通して図り、それらを認知や行動の手がかりとして活用できるよう支援します。 感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防及び適切な行動への支援を行います。				
	言語 コミュニケーション	言葉だけではなく、表情や身振り、各種のカードや機器を用いて、それぞれに応じたコミュニケーションの基礎的な能力を身に付けることができるよう支援します。 言語の受容と表出の支援や、物事に対応した言語概念の形成とそれらを活用できるよう支援することで、場面に応じたコミュニケーション能力の向上を図ります。 伝える側と受け取る側との人間関係や、その時の状況を的確に把握する重要性の理解を促し、場や相手の状況に応じて、主体的にコミュニケーションを展開できるよう支援します。				
	人間関係 社会性	環境や人に対する安心感・信頼感、自分に対する信頼感を育むような支援を行います。 感覚機能や運動機能を働かせる活動の中で、人の動きを模倣することにより、社会性の発達や対人関係の構築を支援します。 自分の行動の特徴や気持ちを理解し、状況に応じた行動ができるよう支援します。ご希望に応じて集団活動に参加し、相互理解や互いの存在を認められるように支援します。				
家族支援		一緒に活動に参加して頂き、成長や変化、健康状態などを共有・共感できるように、支援や相談を行います。		移行支援		他施設と連携を持ち、必要なサービスが継続して受けられるよう支援していきます。
地域支援・地域連携		学校や他施設と連携を図り、情報交換や役割分担を行い、医療的ケアや専門的な支援もスムーズに行われるように配慮します。		職員の質の向上		権利擁護や感染症対策など基本的な全体研修をはじめ、各自で知識や技術向上の研修に参加しています。また、第三者評価を取り入れ、働きやすい環境を整備し、豊かで優しい支援ができるようにしています。
主な行事等		今現在、季節に応じた特別な行事は行っておりません。が、毎日の活動の中で、体操やストレッチ、各種の運動（各競技スポーツ、ボール遊び、ダンス、バランスボール、バランスボード、ステップ素材を使用した運動、ハンモック、スカイチェアー、アスレチック、縄跳びなど）を行っています。				